

令和7年度

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

東小学校

第6学年

西東京ふるさと探究学習

単元名：
(活動名)

「目指せ！防災マスター！」

ねらい：

- ・自然災害について調べる活動を通して、防災の必要性や自分たちにできる備えについて学ぶ。
- ・地域や家庭の防災についての取組に目を向け、自ら課題を見付け解決策を考える。

【6月】

家庭で備えている防災用品について調査しました。備蓄品の種類や量を整理し、クラスで共有しました。共有する中でそれぞれの家庭で備蓄しているものの違いや家庭の工夫を知りました。

「十分な備えとは何か」という問いをもち、今後の学習課題につなげました。

【7月】

防災研究所から講師の先生にお越しいただきました。首都直下地震への備えや防災について、能登半島地震での被災地支援についてなど多くのことを学びました。特に能登半島地震の被災地支援については、実際に現場に行かれたときの被災者の方の声から、本当に大変なことや必要なものについて学ぶことができました。

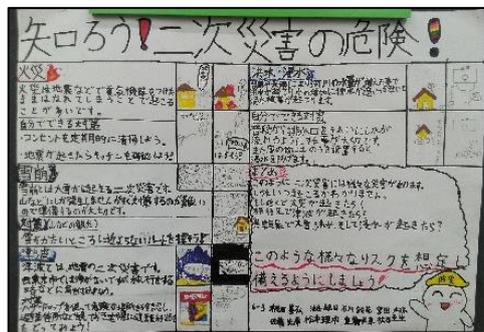
【9月～10月】

講演で学習した首都直下地震についてや災害への備えについてを振り返り、「もっと知りたいこと」「自分たちにできること」を話し合いました。「防災グッズ」や「避難所生活」などテーマごとにグループに分かれ、インターネットを活用して詳しく調べました。

友達と協力して調べ、防災対策について理解を深めました。

【11月～12月】

グループごとに調べた内容を低学年の児童が見てもわかりやすいようにポスターにまとめ、校内に掲示しました。



まとめ

1年間を通して防災について「知る」だけでなく、「考える」「伝える」学習を行ってきました。家庭での備えを調べるところから始まり、専門家の方にお話を聞き、自分たちでもっと知りたいことを調べ、ポスターにまとめました。子どもたちは、防災は誰かがやってくれるものではなく、自分たち一人一人が考え続けることが大切だということを学びました。